

第 29 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 29 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	令和元年 10 月 15 日（火） 14 時 00 分から 15 時 55 分まで	
開催場所	香取市役所 本庁 5 階 大会議室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 為国 孝敏	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 1 のとおり	
会議事項	<p>1 議事・報告</p> <p>(1) 香取市地域公共交通協議会要綱等の改正について</p> <p>(2) 香取市地域公共交通網形成計画策定に向けた調査業務の進捗について</p> <p>(3) 福田線グリーンバスに替わる代替路線について（追加議案）</p>	<p>2 会議結果</p> <p>原案の通り可決</p>
会議の経過	別添（会議経過）のとおり	
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香取市地域公共交通協議会（第 29 回協議会資料） ・ 別添 1-1 自家用自動車による有償運送 ・ 別添 1-2 香取市地域公共交通協議会要綱の新旧対照表 ・ 別添 1-3 香取市地域公共交通協議会規約の新旧対照表 ・ 別添 2-1 調査業務の進捗について ・ 別添 2-2 公共交通利用者ニーズ調査等分析資料編 ・ 香取市地域公共交通協議会（第 29 回協議会追加資料） ・ 福田線グリーンバスに替わる代替路線資料 ・ 道路運送法第 9 条第 4 項、及び同法施行規則第 9 条第 2 項に掲げる協議が整っていることの証明書（案） 	
その他必要項		
会 議 録 の 確 定		
確 定 年 月 日	署 名	
令和 元 年 11 月 5 日	議 長 為 国 孝 敏	

(会議経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>本日はご多用の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。定刻前ですが、委員の方がそろっていますので、只今より第29回香取市地域公共交通協議会を開会いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます、企画政策課の朝比奈と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは初めに、資料の確認をさせていただきます。まず、事前に送付させていただいたものとして、「香取市地域公共交通協議会（第29回協議会資料）」と書かれた資料が1部、別添1-1として、「自家用自動車による有償運送」と書かれた資料が1部、別添1-2として、「香取市地域公共交通協議会設置要綱の新旧対照表」が1部、別添1-3として、「香取市地域公共交通協議会設置規約の新旧対照表」が1部、別添2-1として、「香取市地域公共交通網形成計画策定に向けた調査業務の進捗について」と書かれた資料が1部、別添2-2として、「香取市地域公共交通網形成計画策定に向けた調査業務の進捗について公共交通利用者ニーズ調査等分析資料編」と書かれた資料が1部、以上となります。こちらは、持参いただけましたでしょうか。</p> <p>また本日お配りしました資料として、「会議次第」が1枚、「座席表」が1枚、「香取市地域公共交通協議会設置要綱」が1部、「香取市地域公共交通協議会規約」が1部、「委員名簿」が1枚、「ご意見等記載用の用紙」が1枚で、以上が本日ご用意したものになります。</p> <p>不足、不備等がございましたら、事務局までお声を掛けてくださいますようお願いいたします。</p> <p>さて、ここで本日から新たに委員となられた方をご紹介します。ジェイアールバス関東東関東支店、今井支店長でございます。本来であれば、市長より委嘱状を交付すべきところですが、公務の都合上交付できませんので、お手元に配布させていただいております。ご理解をいただければと存じます。</p> <p>それでは、今井支店長より、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
今井委員	(今井委員 あいさつ)

事務局	<p>次に、本日欠席の委員の方々をご報告いたします。千葉交通労働組合の伊藤委員、福田線バス路線をまもる会の平山委員、関東鉄道株式会社の武藤委員です。以上の委員が欠席となります。出席委員26名、欠席3名、委員29名の過半数のご出席をいただいておりますので、本会が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは本会の開会にあたりまして、会長であります、地域公共交通マイスター為国会長より、ごあいさつをいただきたいと思います。為国会長、よろしく申し上げます。</p>
為国会長	<p>(会長あいさつ)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは会議に入りたいと思います。設置要綱第5条によりまして、議長は会長が務めるとなっておりますので、為国会長、よろしく申し上げます。</p>
議長	<p>それでは、議事・報告の(1)香取市地域公共協議会設置要綱等の改正について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明)</p>
議長	<p>末端、フィーダーの所は、通常のバス事業者では対応できない部分があります。そういう所を色々な形でフォローするため、国としても協議会で協議を進めていくようにという方針があります。香取市では自家用有償運送について、協議事項に入れていなかったもので、今回自家用有償についても協議会の協議対象に入れていきたいということです。</p> <p>ご質問、ご意見があれば、お願いします。</p>
土屋委員	<p>自家用有償輸送事業は、国土交通省の基本的な考えとして、過疎地域の輸送において、バス・タクシー事業者によって提供されない場合に、市町村あるいは特定非営利活動法人によって自家用車を用いて運送できるという仕組みになっています。</p> <p>香取市には、バス事業者・タクシー事業者が存在するので、慎重に進めて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>話があったように、香取市内には既存のバス事業者、タクシー事業者がありますので、当然そちらとの兼ね合いは十分注意</p>

	<p>しながら、各団体と協議していきたいと考えております。</p>
議長	<p>その位置づけとして、この協議会があるということです。</p>
藤田委員	<p>相談を受けていると聞きましたが、相談を受けているのは、どの辺ですか。</p>
事務局	<p>現時点では、地元で NPO の立ち上げに向けて、設立総会を終了したということで伺っています。近々に、その団体の方と会う約束をしており、事業内容について聞き取りをしようと考えているところです。</p>
金親委員	<p>この運送は、香取市全体を運行する考えなのか、過疎地域として地区を特定して運行するのかを確認したいのですが。</p>
事務局	<p>これまでのヒアリングを聞いていますと、NPO 側の意向としては、全地域で計画・構想を持っていると伺っております。一方で、先ほど指摘いただきましたように、過疎地域である、或いは類似地域であるという前提がございますので、市としても既存のバス事業者あるいはタクシー事業者等々への影響を懸念しており、慎重に検討していきたいと考えております。</p>
議長	<p>基本的には、自家用有償運送はエリアを限らないとダメですね。私も自家用有償運送と随分関わっていますが、全域でやってしまうのは違う話ではないか思います。</p> <p>自家用有償がふさわしい所、必要な所への導入を考えていかないとスタンスが変わってくるので、そこは慎重にやっていただきたいと思います。</p> <p>それをこの協議会で議論させていただきますので、具体的なものが出来た時には、皆さん、よろしくお願いします。</p> <p>支局はどうですか。</p>
飯塚委員代理	<p>支局としては、公共交通会議の中で、市全体の公共交通を考えていくという目的がありますので、導入に当たっては、既存事業者と調整した上でやる必要があると考えています。</p> <p>後は、自家用有償運送ということで、白ナンバー・黄色ナンバーで人を運ぶということになります。一般の既存の緑ナンバーをとって運送している事業者と比べると、安全性をどこまで</p>

<p>議長</p>	<p>考えて計画しているのかというところを、事務局、協議会の中で、確認していかなければならないと思います。</p> <p>いろいろと慎重にやっていきましょう。</p> <p>それを議論するような形ができるように、要綱を変更したいということですね。これから具体的な話が出てきた時には、皆さんと意見交換させていただきながら、いい方向にできればと思います。</p> <p>他に。よろしいでしょうか。今出てきた意見を頭に入れながら、設置要綱にこのように追加しますということについて承認いただくことでいいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>議長</p>	<p>それでは議事・報告の(2)香取市地域公共交通網形成計画策定に向けた調査業務の進捗について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(事務局説明)</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>前回の会議後、いろいろと調査を進めていただき、私もお手伝いさせていただきましたが、ご協力いただいた皆さんにはご苦労様でした。</p> <p>それをこういう形に整理しました。それをもとにすると、最後に出てくるような課題のようにまとめられるのではということで提示したというところです。</p> <p>ボリュームが多いですが、どこからでもいいので、質問・意見等ございましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>ちなみに、事業者の皆さん、団体ヒアリングの結果についてお願いなのですが、私の方でこういう風に書いてみましたが、この書き方まずいよとか細かいところは、後で事務局サイドにお伝えください。</p> <p>先日開催しました地域の皆さんとの意見交換会については、今回間に合っていないので、次の機会によくチェックしていただければと思います。</p> <p>いかがでしょう。どんなところからでも構いませんので、ご意見、質問、感想でも構いません。</p>

	<p>地域の皆さんいかがでしょうか。関委員、利用している動向とか整理していただいています。感想でも結構ですので、一言お願いします。</p>
関委員	<p>P17 の事業者ヒアリングの高速バスで、「佐原駅前の混雑が悪化」ということですが、ロータリーも整備されて、スムーズに回れるようになったと思いますが、いかがでしょうか。</p>
長津委員	<p>P17 の佐原駅前の混雑悪化については、乗務員の方からそういう意見が出まして、ロータリーの方はきれいに整備されましたが、ルートインが開業後、駅前で送迎されているマイカーの置き場がなくなったということで、ロータリーの所で滞留が起きて、バスが待たされることが増えたという話があり、ヒアリングの時に回答させていただきました。最近の状況は確認はしていませんが、ちょうどできたばかりの時だったので、そういう意見が出ておりました。</p>
議長	<p>そういう状況であったということです。 他にどんなことでもいいので、ご質問、ご意見いただければ。事業者の皆さん、どうでしょうか。こういう課題で整理しましたが、ご意見いただければありがたいですが。 鵜澤委員いかがでしょうか。感想でもいいので。</p>
鵜澤委員	<p>個人的な話ですが、佐原駅が混雑しているということですが、南口は関鉄グリーンバス、北口は千葉交通が走っているところで、今後利用者がどちらを利用したらいいのか、事業者の立場からすれば、会社も行き先も違うという問題もあるが、この辺は利用者の立場になって、将来的には考えていかなければいけないところかなと思っています。その方が利用者からはわかりやすいと思います。</p>
関委員	<p>バスターミナルを佐原駅北口にこれから設置するということですね。</p>
鵜澤委員	<p>そういう話もあるようですが。</p>
関委員	<p>混雑緩和にもなると思います。</p>

<p>鵜澤委員</p>	<p>1ヶ所に集中されると、利用者にとっては非常にいいと思います。香取市においては、観光客は非常に大事だと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>高校生に話を聞くと、わかりにくいという意見が随分ありました。</p> <p>多分、以前からの路線を踏襲してきていますので、そういう意味で、香取市として全体を見たという感じではなかったと思います。ですから、これを機会に、香取市の市民、また外から来る人にとっても、どういう風にするのがいいのか、今鵜澤委員から利用者目線でという話があったが、過去のいきさつはいろいろあると思いますが、方向としては、利用者が本当に使っただけのようなものを目指すということですかね。</p>
<p>川俣委員代理</p>	<p>中高生ワークショップは、非常にいい試みだと思っていました。参加者の学生は、どういう風に募ったのでしょうか。希望を募って選ばれたのか、それとも推薦で選ばれたのか、その生徒たちが普段から公共交通を利用されている方々なのか、普段は自転車利用が多い方なのか教えていただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>中高生の人選については、基本的には学校の方で選抜していただきました。</p> <p>参加者の公共交通利用状況ですが、中学生については利用は多くないという感じを受けました。高校生についても、全ての参加者が通学に公共交通を利用している方ではなかったと認識しております。</p> <p>ただ、意見を聞いていますと、こういう面を改善すれば、もっと利用しやすいなどの意見を出す高校生の方もいましたので、一定程度の電車、バスを利用している状況だったと認識しております。</p>
<p>川俣委員代理</p>	<p>中学生は、普段それほど利用されていない方が多いということでしたが、今後課題として⑥で分かりにくい運行情報の改善、市民意識の醸成というところで、小学生になるのか、中学生になるのかあるのですが、小さい頃から公共交通に慣れ親しむ機会を作っていくというところも施策として検討する余地もあるかなと感じたところです。</p> <p>私の感覚ですと、自分が住んでいる所のバス停について知っ</p>

ているのが当たり前という感じだったのですが、この地域の生徒は、「知らない」という回答があるのは、個人的な感想なのですが驚きました。そういう所も改善していく必要があるのかなと思いました。

議長

私も出ていましたが、小見川地区の子供たちは、すごく積極的でした。中学生や高校生にバスが走っているということが伝わっていない。日常的にバスに乗らないから興味がないのだと思います。彼らに情報を提供して、公共交通は今こういう風であるという話をしながらワークショップをやってもらいました。そうするとだんだん話が出てきて、高校生になると、高速バスでディズニーランドへ直行してほしいというような率直な意見が出てきました。つまり、目的地も関係すると思います。

どうしても、高齢者の足をとということを考えがちですが、もちろんそれも大事ですが、これからの子供たちに、公共交通を認識してもらうことが大事だろうと思います。

畔蒜委員

P24の「③公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の改善」ですが、平時のダイヤの調整はもちろんです。たとえば、バスで駅まで出て、駅から電車に乗って高校へ通う高校生の場合、朝の部活に間に合う時間帯の電車に乗るためのバスがないとか、帰り部活動が終わって来て、電車を降りてから家に帰るバスがないという話はよくある話で、そのために自宅から車での送迎が結構あります。そういった部分が可能かどうかわかりませんが、平時のダイヤ調整ができるのかという部分と、気象条件が悪化して天候が悪い時に、最近JRで、下りの電車が遅れた時に、帰りのバスが出てしまったということがよくある話で、例えば電車同士だと我孫子方面から来た電車が遅れる場合に、銚子に向かう下りが少し時間調整して待ってくれて乗れたりするが、電車とバスだとそれができないということはよくある話で、その辺が柔軟に調整できるのかということが課題だと思います。

事務局

1点目の早朝あるいは夜間帯のダイヤ拡充の点ですが、市としてどこまで対応できるかについては、検討していきたいと思っています。

2点の遅延への対応については、なかなかレアケースで、全てカバーできるかということ、なかなか難しいのではとお

<p>議長</p>	<p>ります。</p> <p>鉄道事業者として、JRから地域のバス・鉄道とかの情報発信について、何か考えられていることはありますか。遅延についてどこまで遅延情報が提供されているかわからないのですが。</p>
<p>岡崎委員</p>	<p>現在は、遅延情報は特に情報提供は行っておりません。先ほど出ました、成田駅での我孫子から銚子の方への乗り継ぎについては、当然、社内のことなどで情報共有はできています。ただ、それについても、何分以内なら乗り換えできるようにしましょう、何分以上だと次の電車を利用していただくというのがありますので、必ずしも全てできていないという状況はあります。</p> <p>情報発信した場合に、どのくらいだったら可能だろうということもあります。当社のホームページで、遅れの情報についてのアプリが出ていますので、こちらでの発信になるのかなと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>鉄道の出発を意識して、バス側がダイヤを組んでいるところが多いと思います。</p> <p>バスの場合は道路事情があり、影響を受けてしまうので、あまり乗継ぎ時間を短くすると乗れなくなるし、逆に長くしてしまうと、待っているのが嫌になり利用しなくなります。</p> <p>利用者はわがままなのでそういう話も出てきます。</p> <p>高校生とか通勤で使う方は、今はアプリが使える方が多いですから、これからどんどん情報提供の手段は出てくると思います。</p> <p>それが今、国の方で考えているMasSというものですが、「情報を一元化して移動サービスを提供しましょう」という点は、もっと考えなくてはいけないと思います。</p> <p>香取市の計画の中でもMasSを意識して、移動サービスというものをどう伝えていくかを考えていかなければいけないだろうと感じています。</p>
<p>岩立委員</p>	<p>別添資料2-1のP21に教育総務課・学校教育課のヒアリング、前後で各課への聞き取りの概要が記述されておりますが、ここで太字にしてアンダーラインを引いてある所と、ない所があり</p>

ますが、これはこういった主観なのか。

下から5番目の「スクールバスありきで話が進んでいく」とか「今まではすべてスクールバスで対応しており」「路線バスでの輸送は考えていない」「小中学校の混乗については、今のところ実績がない」というところに、マーカーを引いてあるのは、重大な意味を持っているのでマーカーを引いていると思いますが、その次の資料に地域公共交通の問題と課題（案）があり、左側に色々な記述があって、右側に地域公共交通の問題及び課題（案）に流れており、その4番目に少子高齢化の進展に対応するサービス間のすみ分けが入っています。

その裏をみると、いま申し上げた項目の中に、3段落目に、また小・中学校のと、スクールバスの話が出てくるのですが、運行台数は現行25台より増大する見込みとなっているということで、問題・課題の記述に入っていて、アンケート等の中で、スクールバスを活用してほしいとかそういう話があるのかどうか、前段の資料では、私は読めませんでした。

と言いますのは、スクールバスを有効活用しろというのは、議会でも質問を受けています。当然、うちの方でも、なかなかスクールバスを一般の方に開放して有効活用するには、色々なハードルが高いので、とりあえず教育委員会の主観だけでは答弁できないので、市の公共交通の検討会の中でこれから話をしていきますという事で、議会の方に説明しています。

具体的に、問題点・課題の部分にこういうものがあって、実際に既存の路線バスがあって、スクールバスは目的が違い補助金も受けているので、目的外で使用することは不都合があって、なかなかできないということ、実際実施できない理由を中に記述してもらわないと、スクールバスの台数だけ増えて、実際に使えない理由がどこにあるのだろうということが一般の目線で見ると、薄いと思う部分があるので、多少そういうのを入れてもらおうと、見た人はこういう風なんだなということが分かるので、加えていただけるとありがたいです。

議長

非常に重要なことだと思います。各地でスクールバスがどんどん増えています。混乗にしようとする話はすぐ出るが、色々な条件があるわけですので、そういう所も書いておかないと、誤解されるのではというところですね。

事務局

アンダーラインの表示の件ですが、誰が決めているのかとい

うことですが、ランドブレインの方で資料を作成していただいて、事務局の方で確認をしています。議長の方からもありましたように、修正した方がよいだろうということでご指摘いただければ、修正を検討したいと思います。

スクールバスについて、アンケートの中に入っていないのではないかという点についてですが、アンケートの中ではなく、市民からの意見とか議会とかいろいろなところからから意見を受けていますので、そういう点から課題として挙げているところ です。

岩立委員

実施するに当たって、なかなかハードルが高い決まりがあるという検証した結果が入っていないので、教育委員会から聞いて、学校の統廃合でスクールバスが増えるといっても、スクールバスは目的は決まっているし、補助金ももらっている。一般に活用することはハードルが高くできないという状況があるので、何でできなのか検証したものを簡単な言い方でいいから加えていただかないと、一般の人はバスが停まっていて、動いていないのであれば、あれをもっと利用すればと、素人目線で見られてしまうのではないかと思います。それを理解してもらうには、その事情を加筆してほしいと思います。

事務局

本日、この資料で、アンダーラインで太字にしているのは、説明するのにポイントを示すという意味で、クローズアップしています。これが現在の経過を示す速報的な報告ですので、最終的にこの報告書としてこの内容で、こういうスタイルで出すというものではありません。ですので、まだまだ検証を進めていますし、課題の再度見直し、問題点または解決策に向かう方法論は、これからまた検討して記載を加えていきますので、言われるようなことも記載していくことになります。もう一度申し上げますが、ヒアリング結果についても、文字数が多いですので、説明するに当り、ポイントとなるところについて表記を替えさせていただきということです。

議長

スクールバスだけでなく、福祉の方でも関係してくるので、色々な制約がありますので、わかるような形にしておかないといけないと思います。今は速報で出していますから、その辺は協議会の方もご理解いただきたいと思います。

最初にお問い合わせしたように、私も話を伺いに行って、メモした

	<p>ものを整理して出しただけですので、皆さんにご了解いただいておりますので、よくチェックしていただいて、今のように、これもう少し検証した方がいいというようなご指摘もいただければと思います。</p>
宮崎委員	<p>スクールバスの話にも関連するのですが、有償・無償の話があると思いますが、施設が無償で提供している交通手段、輸送手段の整理が全くないので、やはり実態として、そういった形が既にあるとすれば、それも一つの競争相手として、既にあると思うので、その辺も押さえたうえで、スクールバスの話もできるのではないかと思います。</p> <p>それから、香取市が停車場所となっている有償となっているものは協議の対象となると思いますが、無償の場合、どこまで制約があるか認識していませんが、県を越えていくとか、市域を越えて輸送形態としている無償のものも、どこかで触れないといけないのかなと思います。</p>
議長	<p>今日の資料の最後 P27 に、病院の送迎バスについて調べたものがありますが、これだけではないですね。色々な話を伺っていますと、茨城の商業施設の送迎バスが無料で走らせている実態があります。こういう足を考えていく時に、我々の方で対応する道路運送法では、これまでは有償しか議論できませんでした。</p> <p>ただ、こういう網形成計画の中では、地域の中で無償でやっている部分もきちんと押さえておかないと、少ないパイを取り合う状況にもなります。ですから、そこは少し整理したいと思っており、無料送迎バスの情報を調べてもらったものです。他にもありますから、</p> <p>中間報告ですが、進捗報告以上という事で、ご理解いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(了承)</p>
議長	<p>他に、事務局の方から追加協議があるのでお願いします。</p>
事務局	<p>(福田線グリーンバスに替わる代替路線について説明)</p>
議長	<p>ありがとうございました。福田線グリーンバスに替わる代替</p>

	路線について、質問等ございますか。
金親委員	ジャンボタクシーというと、タクシー会社或いはバス会社、どのような方向で、今考えていますか。
事務局	乗合4条を所有している事業者を想定しています。
土屋委員	入札か何かをされるのでしょうか。
議長	12月くらいに業者選定したいということですが、どのような方法・方針で考えられていますか。
事務局	基本的には公平な競争をしたいと考えております。現在検討しておりますが、単純な金額ベースでの入札とするのか、他の条件を加味して、違う手法での競争とするのか検討しているところです。
金親委員	地元タクシーですが、現在、ジャンボタクシーを所有していません。もし、これに参加するとなれば、ジャンボタクシーを所有して条件がそろって手を挙げるといった感じになるのでしょうか。認可の関係もありますので、かなり時間をいただかないと、これに参加できないのかなど、危惧しています。
事務局	これまでの地元との話し合いで、先ほど申し上げましたが、福田線グリーンバスが3月31日をもって廃止されます。地元としては、隙間なく4月1日から福田線グリーンバスに替わる公共交通手段を提供してほしいということですので、我々としては、4月1日から速やかに運行開始できるということを、契約の条件にしたいと思っています。
金親委員	ジャンボタクシーを持っていないことを危惧しているところなのですが、ドライバーの余裕もないということで、ジャンボタクシーを用意して、認可をとって参加するとなると、現在、ジャンボタクシーの利用は、年1、2回ぐらいしかありません。ジャンボタクシーを導入して、参加できませんよと言われた時のリスクと、例えば参加できた場合、また2年目も同じような入札となって、1年でダメでしたというリスクがかなり大きいと思います。個人的な考えなのですが。そういう危惧をしてい

<p>議長</p>	<p>ます。</p> <p>色々と、是非配慮して検討して進めるということでもいいですか。道路運送法の4条で乗合の関係のエントリーも必要となってきましたので、そのスケジュールからみた時に、来年4月1日に運行するとなると、かなりタイトだと思います。</p> <p>お金の関係もあるかもしれませんが、公共交通協議会で承認するという事は、スケジュールが短縮されるメリットがあるので、色々地域のことを考えて動かしていただければ一番いいと思います。ご要望をいただいているので、事務局よろしくお願いします。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>週2日とありますが、平日ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>地元の方から、主に通院・買物と伺っています。通院は基本的には平日のどこか1日が想定され、買物も含めて考えますともう少し広がるのかなと思います。まだ地元と何曜日に走らせるというところまでは決まっておられませんので、土日は走らせないという前提を除外して考えていきたいと考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>平日ということでもいいですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>週末は周遊ルートが走っておりますので、それに影響がないようにということで検討しておりますが、平日の中で祝日が入っている場合がありますので、そこを平日として除外してしまうかは検討させていただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>こちらで考えているのは、原則曜日固定です。例えば月曜日と金曜日というふうに考えています。その辺については、地元と話をしています。先ほど話をしたのは、月曜日が祝日となった場合、どうするのかについての結論は出ていないということです。</p>
<p>成田委員</p>	<p>2点ほど。国交省のガイドラインでも十分に協議会で合意形成を図った上で、運行開始となっております。</p> <p>今回新たに路線を設置するということですので、事前に市内でバス事業を行う事業者と調整した上で、この資料があるのかどうかをお伺いしたいと思います。</p>

2点目は、ジャンボタクシーを使うということで、道路運送法の4条に基づく乗合運行ということですが、乗合運行にも路線を定めた運行とエリアを定めた乗合区域がありますが、資料で路線型ということはわかるのですが、法律の適用において、入札等で落札した業者がどういう形で許可を取ることを想定されているのか、この2点について教えていただければと思います。

事務局

地元の事業者との合意形成についてお答えします。

今回、福田ルートについては、福田小学校を出てから県道を走るルートについては、JRバス関東、千葉交通が運行している既存のバス路線と一部重複する区間があります。このあたりの考え方について、事前に説明させていただきました。

2点目の乗合運行につきましては、路線型で許可を取ることを考えています。

川俣委員
代理

路線は、現在の福田ワゴンとほぼ同じという説明があったかと思いますが、もし違う所があれば教えていただきたいです。

運賃は、現在の福田線の運賃設定はどうなっていますか。今回は1回500円ということですが、重複するバス路線との運賃調整はどうなっているのか気になったので、教えていただければと思います。

事務局

既存の福田線の運賃の考え方ですが、実は様々な種類の運賃体系が存在しております。資料別添2-1のP16の下段に福田線の参考情報として記載しているように、地元会員制で定期券など多様な料金設定がされています。

既存バス路線との運賃については、ルート図の下の方に四角くなっている所が福田小学校を回っているルートを示しており、天宮神社から九美上第四公民館、わらびが丘小学校にバス停を設置しています。その先、県立佐原病院に向かう区間ではバス停を全く設置しておりませんが、このあたりを既存バス路線が走っています。わらびが丘小学校から既存バス路線の九美上バス停がありますが、そちらから佐原駅方面に向かう料金設定については、390円となっていますので、その辺も考慮して福田小学校を回るということから今回運賃設定として大人500円と予定させていただいています。

議長	<p>ルートの変更はありますか。</p>
事務局	<p>小学校を回る四角い部分を変えています。利用者の状況を加味して、ルートの見直しをしています。</p> <p>周遊ルートは、現在週末走っているルートから県立病院を除いています。</p>
議長	<p>これからまだまだ調整が必要かと思いますが、代替路線なので、こういう形で地域の足を対応せざるを得ないというところで、協議会としても承認するというこでもっていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
川俣委員代理	<p>もう1点確認なのですが、車両は事業者が用意することを前提に考えているということでしたが、今回の契約は、週のうち2日間乗合のために借り上げるというようなことだと思うのですが、そうすると、せっかく車両を買っても、残りの週5日間は走らせられないということでしょうか。細かい話かもしれませんが、タクシーの許可を持っている会社であれば、一般タクシーとの兼業を認めるという形にされるのかどうか、入札か何かされる時に条件として、事業者にとって影響のあるところかなと思われまます。</p> <p>車両の大きさが10人乗りということでしたが、厳密に10人乗りとしてしまうのか、12～13人乗りなど使用できるとは思いますが、少し柔軟性を持たせて、バス会社でも貸切事業と兼用できるような配慮してあげると、より手が挙げやすいと感じました。</p>
成田委員	<p>資料で、道路運送法第9条第4項、及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っている証明書、まさしく今日これでやるという方向であれば、これが運輸局の方に出ていくわけですので、少し指摘をさせていただきます。</p> <p>まず1点目は、1. 協議が調っている路線又は営業区域と書いてあり、その下に佐原循環ワゴンとあります。先ほどの説明で路線ということでしたので、項目の「又は営業区域」を削除するか、佐原循環ワゴンの頭に路線と書くとか、どちらかにするということがあります。</p> <p>2つ目は、協議が調っている運行系統又は運送の区間とあり、路線型で系統を示すものですので、下に「定時定路運行」は、</p>

	<p>定路線ではないか、文字が抜けているのではないかということです。ここは、運送の区間はないので、運行系統だけであれば、「又は運送の区間」は、いらぬのではないという部分的な修正です。</p> <p>所定の書式ということであれば、このままでもいいですが、この辺は、協議会で協議しなくてもいいと思いますので、意見として言わせていただきました。</p>
議長	<p>細かいところも含めて、支局とよく相談してください。</p> <p>今出た意見は、これを進めていくうえで、きちんと確認しながら検討していただければと思います。</p>
土屋委員	<p>4月から運行するというところで、賞味あと4ヶ月ぐらいしかありません。4月から運行するのはかなりハードルが高いのでは思います。是非事務局の方に、スケジュールをどういう風に考えているのか、明らかにしていただけるとありがたいです。いつ業者選定をしていくのか、そういうスケジュールが明らかでない、応募したくても難しいのでは思っています。そういう資料をいただければありがたいです。</p>
議長	<p>スケジュールに関して、口頭で説明できますか。</p>
事務局	<p>年内に業者を選定してさせていただきたいと考えています。先ほど言いましたように、競争の手法について、単純に入札でやるのか、条件も付加してやるのかで、若干スケジュールも変わってくると思います。</p> <p>先ほどから議論が出ていますが、支局への最終的な許可の手続きがありますので、そこから逆算すると、年内に業者を決めたいと考えております。</p>
土屋委員	<p>応募事業者の募集の際に市の方から公示をするかと思いますが、いつ頃出るのでしょうか。</p>
事務局	<p>公募開始については、確定的な日数を申し上げることはできませんが、これからの準備期間も含めて、11月下旬までは行いたいと考えております。</p>
議長	<p>行政スケジュール、支局とのスケジュールをよく調整して進</p>

委員	<p>めていただきたいと思います。正直に言って、ハードだなと思います。急な話だと思いますので、何とか対応できるようにしてほしいです。</p> <p>頂いた意見を踏まえて進めていくことで承認を頂けるでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>予定された議事は以上ですので、事務局の方に返したいと思います。</p>
事務局	<p>为国先生、進行ありがとうございました。</p> <p>委員の皆様におかれましては、慎重・活発なご審議、ありがとうございました。</p> <p>最後に、事務的な連絡です。</p> <p>本日、説明させていただきました内容につきまして、後日でもお気づきの点がございましたら、用紙をお配りしておりますので、ご記入いただきFAXなどで事務局へ送付いただければ幸いです。</p> <p>それでは、これを持ちまして、第29回香取市地域公共交通協議会を閉会させていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>

会議の名称 第29回香取市地域公共交通協議会

開催日 令和元年10月15日(火)

・ 出欠席者名簿

委員氏名		出欠
委員	飯塚 孝廣	出席
委員	川俣 好彦	出席
委員	成田 斉	出席
委員	土屋 信乃夫	出席
委員	金親 康祐	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	廣瀬 貢司	出席
委員	今井 信彰	出席
委員	黒田 晃嗣	出席
委員	長津 博樹	出席
委員	武藤 成一	欠席
委員	岡崎 秀志	出席
委員	伊藤 賢	欠席
委員	田中 賢一	出席

委員氏名		出欠
委員	内田 隼人	出席
副会長	関 謙次郎	出席
委員	根本 武彦	出席
委員	村上 静男	出席
委員	香取 薫	出席
委員	下川 裕之	出席
会長	為国 孝敏	出席
委員	平山 和則	欠席
委員	鈴木 喜満	出席
委員	浅野 仙一	出席
委員	宮崎 秀行	出席
委員	畔蒜 孝	出席
委員	木内 勝司	出席
委員	岩立 一郎	出席

出席委員 26人 ・ 欠席委員 3人
・ 事務局

総務企画部企画政策課 課長	吉田 博之
総務企画部企画政策課 企画調整班 班長	朝比奈 勘一
総務企画部企画政策課 企画調整班 主査	安原 寿和
総務企画部企画政策課 企画調整班 主任主事	京増 健人